

イラク開戦20年 ■ I S掃討作戦9年 米国の戦争58万人犠牲

◆イラク戦争とイラク・シリアでの軍事作戦での死者数

	イラク	シリア	合計
米軍	4,599	—	4,599
国防総省の文民	15	—	15
米国の傭兵(ようへい)	3,650	19	3,669
国軍や警察	48,337~52,337	51,483	99,820~103,820
その他の同盟国軍	324	11,000	11,324
民間人	186,694~210,038	138,947	325,641~348,985
敵対勢力の戦闘員	36,806~43,881	67,065	103,871~110,946
メディア関係者	282	75	357
NGO職員など	64	227	291
合計	280,771~315,190	268,816	549,587~584,006

(米ブラウン大学ワトソン国際公共問題研究所の資料から作成)

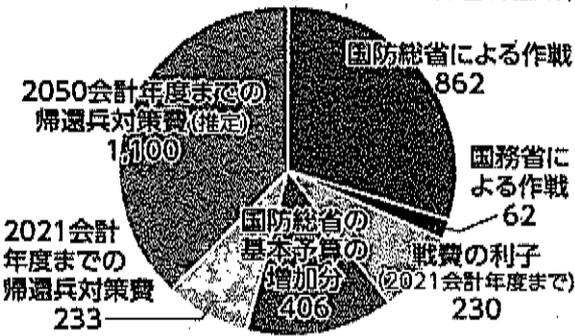
戦費386兆円／地域を破壊

米研究所試算

【ワシントン＝島田峰隆】米国が2003年に強行したイラク戦争と、14年からイラクとシリアで始めた過激組織I S掃討軍事作戦の影響で死亡した人は、推計で最大約58万人に上ることが分かりました。米国が支払った戦争費用は、今後の帰還兵対策を含めると約2兆8900億ドル(約386兆円)に達します。イラク戦争開戦20年を前に米ブラウン大学ワトソン国際公共問題研究所が15日に発表しました。

同研究所は、米軍の発表、国連の報告書、非政府組織や研究者のリポートなどをもとに試算しました。イラクとシリアでの死者数は最大で約58万4000人と見積もられます。これらは爆撃や銃撃などで直接

イラク戦争とイラク・シリアでの軍事作戦での出費(2003~23会計年度)



(米ブラウン大学ワトソン国際公共問題研究所の資料から作成)

的に殺害された人々です。イラクでは死者の約66%が民間人です。大量破壊兵器を保有しているという虚偽の情報に基づいて米国が始めた戦争で、罪のない民間人がもつとも犠牲になったことが分かりました。

戦闘に伴う医療施設の破壊、衛生環境の悪化、食料や飲料水の不足、ストレスなど間接的な影響で亡くなった人は、直接的に殺害された人の「2~4倍に上る可能性がある」と指摘しています。

20年にイラクの女性1000人を対象に調査したところ、回答者の91%以上が03年以来、戦争が影響したメンタルヘルス(心の健康)に苦しんでいました。約36%が自殺を考えた。約36%が自殺を考えた。約36%が自殺を考えた。

米国が支払う戦争費用のうち最も多いのが2050会計年度までにかかる帰還兵対策費です。イラク戦争では3万2000人以上の米兵が負傷しました。帰還兵は帰国後も、戦場で経験した恐怖からPTSD(心的外傷後ストレス障害)などに苦しんでいます。

米軍は03~21年にかけての戦闘で、002換算で推定9800万、1億2200万トンの温室効果ガスを排出。また現地の湿地や森林を汚染し、環境破壊を進めました。

報告書は、イラク戦争は「記録的な数の死者、高くつき今も増える費用、地域の破壊」をもたらしたと指摘。「I Sの台頭は、少なくとも部分的にはイラク戦争がもたらした荒廃に原因がある」と批判しています。